

振興会ニュース

第 3 号

1995年 8 月

日本バスケットボール振興会

内容

- 岡本会長逝去さる
- 役員会の開催
— 牧山圭秀氏が新会長に選任されました —
- 新会長抱負
- 企画部会・技術部会合同会議の開催
- 平成7年度競技日程
{日本協会 日本実連 関東実連 日本学連等}
- 関係団体の役員名簿（平成7・8年度）



新会長の抱負

牧山 圭秀

振興会はここ数年の間に大きく進展して、いまやバスケット界のOB(勿論色々な形で現役の方も多し)の昔をしのぶ親睦会に止まらず、バスケットの発展のために何でもお手伝い出来たらの思いが全員にみなぎってきているのは大変喜ばしいことである。

我々バスケット人の念願はトップレベルの向上と底辺の拡充であり、之に対して我が振興会はバスケット界の統括団体である日本バスケットボール協会へ協力援助することが一番近道と考えている。幸いに最近協会もわが振興会が単なる圧力団体、批判団体という誤解もとけて来ており、我々も協力して喜んでもらえるように努力する責任を感じている。

では之からどうするのか、そこで振興会では過去の親睦会や座談会で様々な貴い意見を特に中堅(50~60才)から多数伺っており、之等を実現するために、特別部会を作り、具体的な案をまとめて実現に移すことになった。

今、日本のバスケット界で決めなければならない大きな問題は、日本リーグ機構の整備と技術強化(男女)の結集である。

この二つはお互いに強い関連があるとともに両方利害反する問題でもあるのである。例えば日本リーグチームの選手がナショナルチームのメンバーを兼ねる場合の練習拘束期間等でお互いの譲り合い協力が必要となってくる。また技術強化の面では世界、アジア、韓国では立派なコーチング会、コーチクリニックがあって技術の結集を行っているが日本では未だ出来ていない。また審判の問題もゲームがはげしくなると行き全国ゲーム数も増加しつつあるなかで、十分な対応が出来ているとは思えない。

更に底辺の拡充について、例えばママさんバスケット、中学生バスケット界については、クラブチームや義務教育の関連で日本協会としても傘下に把握することが難しい現状である。

以上の件以外にも様々な問題が山積しており、吾々は出来ることからやってみようという仕方がない。物によっては費用もかかるが残念ながら未だ目安はついていない。しかし人材は多い。

なお一つの試みとして協会、協会の三本柱である日本リーグ機構、実業団連盟と学生連盟と外郭団体であるわが振興会、国際審判OB会の幹部が定期的(三ヶ月、半年に1回)会合をもって情報交換、協力方法等について話合うことも意義のあることと存する次第である。

何とぞ会員各位の御意見をどしどしお寄せ下さるよう切望するものであります。

企画部会・技術部会合同会議の開催

7月5日の役員会で承認された平成7年度の新企画である企画部会及び技術部会が、早速、7月20日(木)に両部会の合同会議の形で開催された。その概要を以下に報告いたします。

1. 日時・場所

平成7年7月20日(木) 11:30~13:30 於 東条会館

2. 出席者

牧山会長、黒川義雄、稲垣安二、中野富郎、富士秀雄、澤田嘉夫、下間光雄、関口莊次、手嶋 昇、日比野 明、笹岡太一、川本禮治郎、二宮正行、小笠原義昭、渡辺 誠

3. 富士理事長の挨拶

既に役員会で申しあげておりますように振興会が適切な方針をたて、且効果的な支援を行うために企画、技術の両部会を理事会の補助機関として設置することにしました。

より包括的、専門的に勉強いたしたいと考えております。技術部会は当初助成部会ということで少しでも早く助成対象について検討する予定でしたが、より広汎な技術的問題もあり技術部会とすることにしました。現在承っている範囲ではミニ、ママさん、中学生指導、コーチ協力、組織への協力、観客動員のための入場券購入等々であり、企画部会はより政策的に、日本リーグ機構、振興会方針、財源、協会関係などを勉強することかと考えています。

何れにせよ今後早急に検討しとりまとめて頂いて役立てたいと思います。又メンバーは会員ならどなたでも参画して頂くつもりです。今日は最初の合同部会でありますので牧山会長以下役員の方からご自由にご意見を承りたいと思います。

4. 牧山会長挨拶

私の構想は、今後重要なこととして、どんなことをやっていったらよいか、考えてもらいたいと思っており、その具体的なことは企画部会と技術部会で、それぞれ決めてもらいたい。日本協会は法人組織で、十分にやれない面もあるから、よく連繫をとって、協力したい。

協会の一番の問題は、日本リーグ機構の発足であるが、そのほかにも、コーチ強化

や中学校・ママさんの普及等の問題、さらに観客動員の問題等もある。皆さんの意見を出してもらいたい。

5. 出席者の主な意見

(1) 協力援助に関して

- a) 振興会みずから目標をたて具体化するとともに協会からも期待することを出してもらい、そうなったら、振興会は財源確保に頑張らなければならない。
- b) ママさん、中学校・ミニは資金面・技術面で十分に面倒をみられていない面もあるので、振興会として応援する意義がある。

(2) バスケットの人気隆盛に関して

- a) 観客動員のためにサポーターを集めること、チームに地域性をもたせることを考える。
- b) 優秀選手に地方を回ってもらうこと、試合の中間時間にタレントに協力してもらうこと等を考える。

(3) 広報・情報調査に関して

- a) マスコミでもっと取り上げてもらうため、放送・ビデオ・競技スケジュール等のPRサービスに徹する。
- b) 情報サービスを拡充するため、情報ネットワークの設立を考える。
- c) バスケットに関するニーズの調査等を考える。

その他、多岐に亘りご意見があったが次回に項目等を取りまとめることとし閉会した。